

## 2024年5月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月12日

上場会社名	株式会社ミモナ	上場取引所	東
コード番号	7117	URL	http://www.mimona.co.jp
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	池田 道夫
問合せ先責任者	(役職名) 取締役経営管理部長	(氏名)	桑野 光生
定時株主総会開催予定日	2024年8月28日	配当支払開始予定日	—
発行者情報提出予定日	2024年8月28日		
決算補足説明資料作成の有無	：無		
決算説明会開催の有無	：無		

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年5月期の連結業績（2023年6月1日～2024年5月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期	3,713	△12.1	343	△38.5	358	△37.6	234	△40.0
2023年5月期	4,226	17.9	558	11.4	574	12.2	390	13.0

(注) 包括利益 2024年5月期 234百万円 (△40.0%) 2023年5月期 390百万円 (13.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年5月期	780.87	—	19.1	17.0	9.3
2023年5月期	1,301.25	—	42.6	29.0	13.2

(参考) 持分法投資損益 2024年5月期 -百万円 2023年5月期 -百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年5月期	2,036	1,345	66.1	4,484.12
2023年5月期	2,183	1,110	50.9	3,703.25

(参考) 自己資本 2024年5月期 1,345百万円 2023年5月期 1,110百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年5月期	228	△92	△284	449
2023年5月期	356	△130	△21	588

### 2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	中間	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年5月	0.00	0.00	0.00	—	—	—
2024年5月	0.00	0.00	0.00	—	—	—
2025年5月 (予想)	0.00	0.00	0.00		—	

### 3. 2025年5月期の連結業績予想（2024年6月1日～2025年5月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,741	0.8	153	△55.4	150	△57.9	97	△58.5	323円95銭

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：有
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年5月期	300,000株	2023年5月期	300,000株
2024年5月期	-株	2023年5月期	-株
2024年5月期	300,000株	2023年5月期	300,000株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(会計方針の変更) .....	11
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、インフレが進行しているものの、持続的な雇用環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり日経平均株価も史上初の4万円超えや、インバウンド需要の拡大などもあり回復傾向にあります。一方、世界経済においては、中東紛争、ロシアによるウクライナ侵攻継続や、中国の景気不安など、海外の様々な情勢不安が国内景気を下押しするリスクが想定されております。

国内のアウトドア業界につきましては、残暑や暖冬などの気候要因によって季節商品の販売に苦戦する環境となったことと、一時的なブームの反動により、国内旅行や多様なレジャーに移っており、アウトドア市場全体としては調整局面が継続していると考えております。また、工業用製品事業においては商品需要の減少と一部商品の製造中止などが顕著に数字に表れる結果となりました。このような情勢の中、当社グループにおきましては、主力商品である「アウトドアスパイス ほりにし」の販売が好調を維持しております。シリーズ累計出荷本数は600万本を突破し、多種多様な業界とのコラボレーションなどを行い、メディアにも多数取り上げられ、今後も市場拡大を見込んでおります。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は3,713,415千円(前年同期比12.1%減)、営業利益は343,679千円(同38.5%減)、経常利益は358,358千円(同37.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は234,261千円(同40.0%減)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ① アウトドアスポーツ事業

アウトドアアパレルは順調に売上を伸ばしましたが、需要が鈍化しているキャンプ用品の補填とまでは至りませんでした。当事業の売上高は3,552,353千円(前年同期比11.6%減)、営業利益は306,809千円(同38.2%減)となりました。

#### ② 工業用製品事業

商品の製造中止など不安定な情勢が続いております。当事業の売上高は161,061千円(前年同期比27.3%減)、営業利益は36,869千円(同40.6%減)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における総資産は2,036,584千円となり、前連結会計年度末に比べ147,244千円減少しました。流動資産は1,668,835千円となり、前連結会計年度末と比べ154,022千円減少しました。これは主に、現金及び預金が135,115千円、商品及び製品が85,497千円減少したことによるものであります。固定資産は367,748千円となり、前連結会計年度末と比べ6,777千円増加しました。これは主に、有形固定資産が51,498千円増加、投資その他の流動資産が46,137千円減少したことによるものであります。

#### (負債)

当連結会計年度末における負債合計は691,345千円となり、前連結会計年度末に比べ381,505千円減少しました。流動負債は585,955千円となり、前連結会計年度末と比べ335,199千円減少しました。これは主に、短期借入金が168,178千円減少し、1年内返済予定の長期借入金が68,174千円減少したことによるものであります。固定負債は105,389千円となり、前連結会計年度末と比べ46,306千円減少しました。これは主に、長期借入金46,720千円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は1,345,238千円となり、前連結会計年度末に比べ234,261千円増加しました。これは親会社株主に帰属する当期純利益234,261千円によるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は449,832千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は228,447千円(前年同期比35.9%減)となりました。これは主に税金等調整前当期純利益360,429千円、法人税等の支払額181,754千円等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は92,618千円(前年同期は130,947千円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出79,207千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は284,279千円(前年同期は21,222千円の使用)となりました。これは主に、短期借入金の純減少額168,178千円、長期借入金の返済による支出114,894千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

我が国における今後の経済情勢につきましては、世界的なインフレや常態化する円安の影響による更なる物価上昇が懸念され、依然として先行き不透明な状況が想定されます。国内の物価については、人件費や物流費等の上昇や原材料価格の高騰など、依然として厳しい環境が続くと予想されます。

このような状況の下、当社グループはアウトドアスポーツ事業を基盤とし、あらゆる分野へチャレンジするとともにグループのシナジーを高めてまいります。

主力商品である「アウトドアスパイスほりにしシリーズ」を軸に、独自性のある優れた商品の企画や開発、また、メディアへの積極的な露出展開を目論み売上高の増加に努めてまいります。

また、店舗スタッフの専門性・販売力をより向上させ、他の競業店舗との差別化を図り、お客様により一層満足いただける店舗を構築してまいります。さらにデジタル領域におきましても、成長し続けるEC市場への対応を最優先に取り組んでまいります。

なお、海外の情勢不安に伴う当社グループへの直接的な影響はほぼないと想定しておりますが、円安の影響含め、調達コストや商品内容を見直すなど適正な対応を行ってまいります。

以上をふまえ、次期の連結業績予想につきましては、売上高3,741百万円(前年同期比0.8%増)、営業利益153百万円(前年同期比55.4%減)、経常利益150百万円(前年同期比57.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益97百万円(前年同期比58.5%減)を予想しております。

上記の予想は、本資料発表日現在に入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の状況等によって実際の業績は予想された内容から変動する可能性があります。業績予想の変更の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準により連結財務諸表を作成しております。将来の国際会計基準（IFRS）適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当連結会計年度 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	675,172	540,056
受取手形及び売掛金	355,929	394,594
商品及び製品	758,667	673,169
仕掛品	263	141
原材料及び貯蔵品	10,571	10,730
その他	36,663	65,199
貸倒引当金	△14,410	△15,057
流動資産合計	1,822,857	1,668,835
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	94,490	112,616
機械装置及び運搬具	24,458	47,574
土地	169,032	194,752
その他	39,847	52,650
減価償却累計額	△99,247	△127,515
有形固定資産合計	228,580	280,078
無形固定資産		
ソフトウェア	7,073	6,290
ソフトウェア仮勘定	-	2,200
無形固定資産合計	7,073	8,490
投資その他の資産		
繰越税金資産	57,677	6,376
その他	67,639	72,803
投資その他の資産合計	125,317	79,179
固定資産合計	360,971	367,748
資産合計	2,183,828	2,036,584

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当連結会計年度 (2024年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	152,424	158,546
短期借入金	418,178	250,000
1年内返済予定の長期借入金	114,894	46,720
未払法人税等	121,659	14,807
賞与引当金	2,299	2,706
その他	111,698	113,175
流動負債合計	921,154	585,955
固定負債		
長期借入金	144,580	97,860
退職給付に係る負債	2,687	4,309
その他	4,428	3,220
固定負債合計	151,696	105,389
負債合計	1,072,851	691,345
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
利益剰余金	1,100,977	1,335,238
株主資本合計	1,110,977	1,345,238
純資産合計	1,110,977	1,345,238
負債純資産合計	2,183,828	2,036,584



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
売上高	4,226,151	3,713,415
売上原価	2,556,114	2,238,323
売上総利益	1,670,037	1,475,091
販売費及び一般管理費	1,111,438	1,131,411
営業利益	558,598	343,679
営業外収益		
受取利息及び配当金	999	3,528
為替差益	16,576	9,732
保険解約益	182	5,847
その他	2,574	1,892
営業外収益合計	20,332	21,000
営業外費用		
支払利息	4,600	6,238
その他	142	84
営業外費用合計	4,742	6,322
経常利益	574,188	358,358
特別利益		
固定資産売却益	24,356	2,071
特別利益合計	24,356	2,071
特別損失		
減損損失	18,169	-
特別損失合計	18,169	-
税金等調整前当期純利益	580,375	360,429
法人税、住民税及び事業税	203,164	74,867
法人税等調整額	△13,164	51,301
法人税等合計	189,999	126,168
当期純利益	390,375	234,261
親会社株主に帰属する当期純利益	390,375	234,261

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
当期純利益	390,375	234,261
包括利益	390,375	234,261
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	390,375	234,261

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	純資産合計
当期首残高	10,000	710,602	720,602	720,602
当期変動額				
親会社株主に帰属する 当期純利益		390,375	390,375	390,375
当期変動額合計	-	390,375	390,375	390,375
当期末残高	10,000	1,100,977	1,110,977	1,110,977

当連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	純資産合計
当期首残高	10,000	1,100,977	1,110,977	1,110,977
当期変動額				
親会社株主に帰属する 当期純利益		234,261	234,261	234,261
当期変動額合計	-	234,261	234,261	234,261
当期末残高	10,000	1,335,238	1,345,238	1,345,238

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	580,375	360,429
減価償却費	28,928	34,239
減損損失	18,169	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,101	646
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	283	1,621
賞与引当金の増減額(△は減少)	882	406
受取利息及び受取配当金	△999	△3,528
保険解約益	△182	△5,847
支払利息	4,600	6,238
為替差損益(△は益)	△17,052	△9,732
有形固定資産売却損益(△は益)	△24,356	△2,071
売上債権の増減額(△は増加)	△110,976	△37,225
棚卸資産の増減額(△は増加)	40,031	86,242
仕入債務の増減額(△は減少)	32,589	5,296
その他	13,537	△23,803
小計	566,932	412,912
利息及び配当金の受取額	999	3,528
利息の支払額	△4,600	△6,238
法人税等の支払額	△207,119	△181,754
営業活動によるキャッシュ・フロー	356,211	228,447
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△31,500	△19,406
定期預金の払戻による収入	7,200	15,806
有形固定資産の取得による支出	△134,623	△79,207
有形固定資産の売却による収入	32,572	3,542
無形固定資産の取得による支出	-	△4,800
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△16,834
その他	△4,595	8,281
投資活動によるキャッシュ・フロー	△130,947	△92,618
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	38,178	△168,178
長期借入れによる収入	93,500	-
長期借入金の返済による支出	△152,040	△114,894
その他	△860	△1,207
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,222	△284,279
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,052	9,732
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	221,095	△138,718
現金及び現金同等物の期首残高	367,455	588,551
現金及び現金同等物の期末残高	588,551	449,832

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(棚卸資産の評価方法の変更)

従来、当社の商品の棚卸資産の評価方法として、最終仕入原価法を採用しておりましたが、当連結会計年度より移動平均法による原価法に変更しております。

この変更は、基幹システムの改修を契機として、移動平均法にて在庫評価を行う方が、より適切な棚卸資産の評価及び期間損益計算を行うことができると判断したことによるものです。

なお、過去の連結会計年度について、移動平均法による計算を行うことが実務上不可能であり、遡及適用した場合の累積的影響額を算定することができないため、前連結会計年度末の帳簿価額を当連結会計年度の期首残高として計算しております。

また、この変更による影響は軽微であります。

## (セグメント情報)

## 1. 報告セグメントの概要

## (1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、本社に商品・製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う商品・製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

## (2) 各報告セグメントに属する商品・製品及びサービスの種類

「アウトドアスポーツ事業」は、主にEC販売、店舗販売及び卸売を行っております。

「工業用製品事業」は、主に海外からセキュリティインキ原料及び灌漑用商材（スプリンクラー等）を仕入れ、国内企業に卸売等を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分析情報

前連結会計年度（自 2022年6月1日 至 2023年5月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	アウトドア スポーツ事業	工業用製品事業	計		
売上高					
eコマース	1,822,458	-	1,822,458	-	1,822,458
店舗運営	588,514	-	588,514	-	588,514
卸売	1,524,619	221,559	1,746,179	-	1,746,179
その他	68,997	-	68,997	-	68,997
顧客との契約から生じる 収益	4,004,591	221,559	4,226,151	-	4,226,151
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	4,004,591	221,559	4,226,151	-	4,226,151
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,937	-	14,937	△14,937	-
計	4,019,528	221,559	4,241,088	△14,937	4,226,151
セグメント利益	496,509	62,089	558,598	-	558,598
セグメント資産	1,359,359	91,559	1,450,918	732,910	2,183,828
その他の項目					
減価償却費	28,586	341	28,928	-	28,928
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	148,623	-	148,623	-	148,623

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント資産の調整額732,910千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産であります。なお、全社資産は主に当社の余剰運用資金（現金及び預金）及び管理部門に係る資産であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2023年6月1日 至 2024年5月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	アウトドア スポーツ事業	工業用製品事業	計		
売上高					
eコマース	1,550,387	-	1,550,387	-	1,550,387
店舗運営	483,205	-	483,205	-	483,205
卸売	1,436,175	161,061	1,597,236	-	1,597,236
その他	82,585	-	82,585	-	82,585
顧客との契約から生じる 収益	3,552,353	161,061	3,713,415	-	3,713,415
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高 セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,552,353	161,061	3,713,415	-	3,713,415
計	-	-	-	-	-
計	3,552,353	161,061	3,713,415	-	3,713,415
セグメント利益	306,809	36,869	343,679	-	343,679
セグメント資産	1,415,871	41,381	1,457,253	579,330	2,036,584
その他の項目					
減価償却費	33,903	336	34,239	-	34,239
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	67,549	1,100	68,649	-	68,649

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント資産の調整額579,330千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産であります。なお、全社資産は主に当社の余剰運用資金（現金及び預金）及び管理部門に係る資産であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
1株当たり純資産額	3,703円 25銭	4,484円 12銭
1株当たり当期純利益	1,301円 25銭	780円 87銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	390,375	234,261
普通株主に帰属しない金額（千円）	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 （千円）	390,375	234,261
普通株式の期中平均株式数（株）	300,000	300,000

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。